

盛岡市女性活躍推進事業【盛岡市】

地域の実情と課題

○実情

- ・第3次産業従事者が8割超（女性は「医療・介護、卸売・小売業、宿泊飲食サービス」の順に多く従事）
- ・女性の労働力率は約50%で、全国平均50%とほぼ同じ傾向
- ・女性の管理的職業従事者割合は17.6%で、全国平均約15%より高い傾向

○課題

- ・事業所調査における自社の女性活躍推進の課題（上位2項目）「多様な人材の能力を生かす管理職マネジメント支援」「女性の意識改革・キャリア支援」

事業の特徴

○事業対象の工夫

過去に実施した事業所調査やアンケートなどにより、当市では「女性」に特化した内容よりも、「性別に関わらず」というアプローチが受け入れられやすい傾向があることから、事業内容も「多様な人材の活躍」を意識した展開とした。

○基調講演（理論と経験）と分科会（具体的取組事例）の相乗効果

民間企業の男性経営者による、ダイバーシティ経営推進の意義や効果を学べる基調講演と、多様な働き方の具体的取組例（働き方改革・コミュニケーション・LGBT）を知る機会を併せることで、事業の相乗効果を狙った。

事業の効果

○取組意欲の喚起に高い効果（参加者アンケートより）

- ・「事業満足度」について、88%が「大変良かった・良かった」と回答した。
- ・「事業参加前後における意識の変化（前向きなもの）」について、83%が「とてもあった・あった」と回答し、市内事業所への高い訴求効果があった。

○参加者の声より（印象に残ったキーワードや話の内容）

「働き方改革は生き方改革、ダイバーシティと働き方改革は同時に（多数）」
「ダイバーシティの意義や考え方がわかった、もっと勉強したい（男性多数）」
「時代が変わるとしくみを変えないとうまくいかない、昔は成果は時間に比例したが、今は成果は時間ではない、マインドチェンジする必要（多数）」

目的・目標

女性をはじめ誰もが活躍できる職場（ダイバーシティ経営）の意義の啓発と取組意欲の喚起と、実現に欠かせない働き方改革の取組事例紹介を行うことで、市内事業所において、一人ひとりの意欲と能力を最大限に発揮しやすい環境を整える支援をする。

<数値目標>

- 女性活躍推進に関する事業参加者の意識・取組意欲変容度
(H30) 13% → (R1) 目標値 40% → (R1) 実績値 83% (達成)

連携団体

○経済団体・関係団体・大学 等

盛岡商工会議所、盛岡工業クラブ、岩手県中小企業家同友会、岩手経済同友会、NPO法人ファザリング・ジャパン東北、岩手大学、岩手県立大学

○連携地方公共団体

盛岡広域7市町
(滝沢市、八幡平市、葛巻町、岩手町、雫石町、矢巾町、紫波町)

今後の課題

○継続開催と内容のさらなる充実

- ・市内事業者から、事業の継続を求める声が多い。
- ・参加者の取組意欲を喚起するテーマと講師設定、予算確保、ステークホルダーとの連携強化による共同開催などによる継続開催に努める。

○事業周知方法

- ・より多くの市内企業に参加してもらうため、周知方法の工夫などを検討する。

誰もが活躍できる職場づくり推進フォーラム2020

～ダイバーシティ経営推進で企業の成長へ～

日時：2020年2月4日（火）13：30～16：50

会場：おでってホール（盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって3階）

対象：テーマに関心のある企業・市民（168名参加）

●第1部 基調講演

「日本人，男，シニア，有名大学卒…
そんな人たちだけでやっていけますか？」




元カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO 松本 晃 氏



（担当：盛岡市男女共同参画推進室）

- 168名参加
- 主な内容
 - ・女性活躍などダイバーシティ経営推進で企業業績を向上させた経営者による基調講演。
 - ・「古い労働慣行は人や会社，国をダメにする」「働き方改革は生き方改革」としてワークライフ・バランスや働き方改革，女性活躍推進について理解を深めてもらうことができた。

●第2部 多様な働き方を考える（分科会）

【分科会1】 ワーク・ライフ・バランス推進モデル企業最終報告会 （担当：盛岡市子ども青少年課）	【分科会2】 仕事に活かすコミュニケーションスキル （担当：もりおか女性センター）	【分科会3】 企業におけるLGBTの理解と支援 （担当：盛岡市男女共同参画推進室）
<ul style="list-style-type: none"> ●約140名参加 ●市内4企業による働き方改革実践事例の紹介（推進上の苦労や成果，取組ポイント・工夫） ●参加者の声 「事例が参考になった・やってみようと思った・真似したい・小さな改善と成功体験の積み重ねが大事」等 	<ul style="list-style-type: none"> ●19名参加 ●職場を活性化し働きやすい職場づくりを進めるための自分も相手も活かすコミュニケーションスキルを学ぶ ●参加者の声 「ありがとう・うれしい・助かる，の魔法言葉を毎日使いたい，短時間で伝わるように話したい」等 	<ul style="list-style-type: none"> ●10名参加 ●性的マイノリティの人々が，仕事で直面する困りごとや解決方法を，当事者や講師と共に考える ●参加者の声 「実状が知れてよかった，LGBTという言葉にとらわれずその人として接することが大事」等 

◇主催 盛岡市（市民部市民協働推進課男女共同参画推進室，子ども未来部子ども青少年課，もりおか女性センター）

◇後援 盛岡商工会議所，盛岡工業クラブ，岩手県中小企業家同友会，岩手経済同友会，国立大学法人岩手大学，公立大学法人岩手県立大学，NPO法人ファザリング・ジャパン東北・滝沢市，八幡平市，葛巻町，岩手町，雫石町，矢巾町，紫波町